

大田原高校は令和元(2019)年度よりSSHに取り組みます！

大高は、平成31(2019)年度＝令和元年度より、文部科学省SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の指定校となりました。

SSH事業とは ～文部科学省のパンフレットより抜粋～

文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」は、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力等を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組です。

SSHは「科学への夢」「科学を楽しむ心」を育み、生徒の個性と能力を一層伸ばしていくことを目指しています。SSHでは、平成14年度より大学や研究機関等とも連携して先進的な理数系教育を実施し、魅力的なカリキュラムを開発するなど、科学技術に夢と希望を持つ、創造性豊かな人材の育成に取り組んできました。また、SSH指定校を拠点校として、地域への成果の普及などを行っています。

大高のSSH(開発型)事業について

(1) 研究開発期間:

2019年度～2023年度(5年間)

(2) 研究開発課題名:

志と科学的リテラシーを育む文理融合型課題研究の開発
－ Inspiration through Perspiration －

(3) 研究目標:

社会構造の急速な変革が進展する中、社会の持続的な成長と発展への志を持ち、国内外を問わず科学技術分野で新しい価値を創造・発信できる人材を育成する

(4) 研究開発の概要:

- ①「社会問題啓発プログラム」を通じ社会への興味・関心を高め、志の萌芽を誘う。
- ②「課題研究プログラム」を通じ論理的思考力と科学的リテラシーを育成する。
- ③「ICT活用能力育成プログラム」により表現技法・情報発信能力を養う。
- ④ SSH事業全体のPDCA化と評価法の開発により、事業の改善に努める。

(5) 具体的な取組の概要:

- ・1学年は主に、SS探究(総合的な探求の時間)やLHR等の授業を通して、「社会問題啓発プログラム」に取り組み、社会への関心を高め、課題研究のテーマを設定する。
- ・2・3学年は設定したテーマをもとに文理融合グループを編制し「課題研究プログラム」に取り組む。
- ・「ICT活用能力育成プログラム」では、情報機器を活用する授業開発に取り組むとともに、課題研究成果発表プレゼンテーションでの情報機器の活用などを通じ、表現力・情報発信能力の向上を図る。
- ・理工学及び語学に関する部活動(SSC(科学)・SSC(情報)、英語部)を充実させ、各種大会やコンテストに積極的に参加する。また、発展的な課題研究に取り組む。海外の高校等との連携を推進する。